

### ○ ミートコンパニオンがどんの鶴ヶ島工場を取得、業務・外食向け加工事業を拡大

ミートコンパニオン（東京・立川市、阿部昌史社長）はこのほど、ステーキレストランチェーン大手どんの鶴ヶ島工場（埼玉・鶴ヶ島市）を取得したことを明らかにした。また同工場に所属する約170人の従業員も引き継ぎ食肉加工事業を承継し、4月1日からミートコンパニオン鶴ヶ島工場として新たに稼働する。ミートコンパニオンにとっては、どんの基幹工場であった鶴ヶ島工場を取得するこ

とで首都圏内に365日稼働する生産基地をさらに保有することになり、どんグループ向け商材をはじめその他業務用、外食向け食肉加工事業の拡大を図ってゆく方針だ。

工場の概要は次の通り。▽工場名：株式会社ミートコンパニオン鶴ヶ島工場▽所在地：埼玉県鶴ヶ島市柳戸町7-1▽土地面積8,129㎡（約2,463坪）、延床面積4,617.93㎡（約1,399坪）、鉄筋コンクリート造陸屋根2階建。

### ○ 「御殿場高原あらびきポーク」TVCMを関西地区に放映拡大一歩

米久は4月から、同社の主力商品のひとつ「御殿場高原あらびきポーク」のテレビコマーシャルを、関西、山陽、東海・北陸、四国地区一帯にかけて放映する。同社では昨年11月から今年1月の3カ月間、中京地区を中心に初めてのTVCMを展開して製品や企業の認知度の向上を図ったが、子どもを中心に消費者からの反響が大きく、販売実績も大きく伸長したことで、エリアを関西地区など大幅に拡大して放映し、集中販売を行うもの。

CMは、人気子役の小林星蘭さんを中心に、お腹を空かせた3人の子どもがオリジナル曲に合わせて商品を「ごてあらポー！」という略称で呼びながらユニークな踊りを披露する内容。「ポー！」と呼ぶ場面では、劇画調のイ

ラストに切り替わるなど楽しさ・インパクトあふれる内容となっている。放



映期間は次の通り。▽関西地区（4～6月）：大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山▽山陽地区（4～5月）：広島、山口、岡山、香川▽東海・北陸地区（4月）：愛知、三重、岐阜、静岡、富山、石川、福井▽四国地区（4月）：愛媛、高知。

### ちくさんマンボ 桜の到来とともに

☆…今年の桜の開花は2月の寒さの影響で例年より遅いといわれてきたが、高知や山口、愛媛で桜の開花宣言が出され、31日には東京、2日は大阪でも開花するなどようやく春めいた雰囲気となってきた。不振が続いている牛肉の末端消費も、西日本ではホルスのバラ中心に焼き材の引合いが出始めるなど、状況は徐々に好転しつつあるようだ。春の食肉需要も桜前線とともに北上するとよく言ったものだが、その言葉通り、牛肉需要も関東から東北、北海道（ジンギスカン需要も）まで抜けていってほしいもの。

☆…とはいえ、現場の声を拾うと様々な声がある。関東の間屋筋によると、東日本産の販売もこの半年でやや戻りつつあるものの、お客からは依然西日本産の引合いが強く、得意先

への営業でも九州方面からの営業攻勢も強く、東日本産の販売は苦労しているという。一方、関西の量販店では、低価格志向で売れているモノはスソ物中心で、しかも輸入物は高値でモノが少なく、焼肉セットも豚肉の比率を増やして凌ぐといったところもあるようだ。

☆…昨年この時期は震災による自粛ムードの広がりや全国的にお花見需要、GW需要は盛り上がりせず。その後もユッケ事件、セシウム問題と続き、牛肉の販売にとっては災難の一年だった。今年は昨年のマイナスを取り戻そうと、量販店では“2年ぶりの桜商戦”宜しく、ステーキや焼肉セットを中心に販売拡大への期待感は強い。春の到来とともに、苦難が続いた牛肉消費の回復に期待したいところだ。